

こんにちは!中堀明美です。
T様から、「胸の胸のあたりについている、札の様なのは何ですか?飾りですか?詳しく教えて欲しいです。」とお声を頂きました!今号では、その梅檀板・鳩尾板について語らせて頂きます。

語ります 大和魂

〜大鎧の特徴〜

平安時代の合戦では、騎馬戦が中心でした。
馬上の武者のほぼ全身を防護するので、大鎧は騎馬戦に最も適していたそうです。



〜何の為に?〜



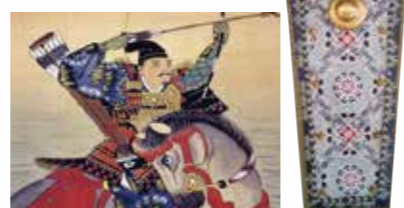
太刀を振る時に、右の脇上部に隙間ができるので、梅檀板が塞いで防御します。一枚の板ではなく小札を威毛つけてあるのは、太刀を振るときや、弓を右腕で引いた時、曲がることで邪魔にならないようにする為です。

右に梅檀板



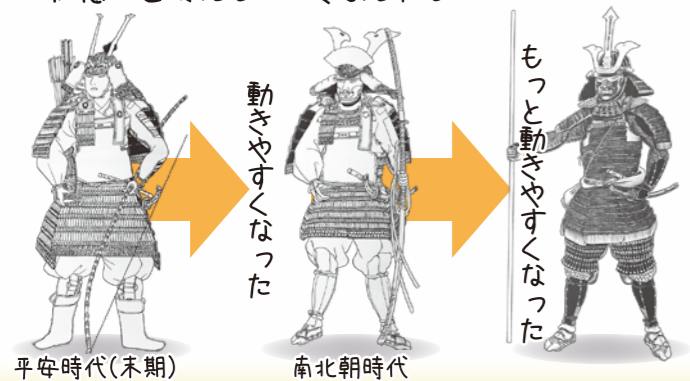
胸の正面上方の両脇には隙間があるので、急所を守る様に造られました。

左に鳩尾板



弓を支える左手を前に出す程、隙間が大きくなるので、鳩尾板が塞ぐことで防御できるように装着されました。材質は鉄です。

その後、騎馬戦が中心だった戦いから、集団・接近戦の戦いが主体となっていきました。より動きやすい状態へと変化していきました。



少しでも戦いやすく、かつ身を守る為に計算されて造られているんだと分かりました。

私は、ここまで必要性のあるものとは思っていませんでしたが、梅檀板と鳩尾板に命を守られた武士は沢山いたんじゃないかなと思います。なくてはならないものだったんですね。

T様如何でしたか?

たんなる飾りではなく、命を守る大切なパーツでした。

次号では梅檀板と鳩尾板に似た、杏葉について語らせて頂きます!!



届けますっ! 大和魂 2018年10月 Vol.26

经营理念

有限会社大名は「届けますっ大和魂!」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

お客様から、有難いお手紙を頂きましたので、紹介させていただきます。

私は脇差「兼重作」を落札させて頂きました、佐々木と申します。
私は現在31歳と若年ではありますが、刀剣の勉強しております。小学生の頃、福島県の会津へ家族で旅行をし、「白虎隊」を知ってから日本史が好きになりました。また、海軍で愛刀家だった亡き祖父から刀の美しさ、作法、心構えを学びました。本当であれば祖父の愛刀を譲り受けたかったのですが、相続権がない私は愛刀の行方は知らずに現在に至ります。

実は花本様から購入する前に、何振か購入をしておりますが、出品者の価値観を下回る刀剣ばかりで、愛刀というには程遠い状況でした。(大切にはしていますが…)

刀剣を探すにあたって、祖父に厳しく言われていた事があります。

「日本刀を大切にしたいならば、まず脇差で手入れを覚え、一振りを大切に下さい」

それで脇差を探していたところ、「兼重作」が目にとまりました。正直、兼重は三十数名いる中で、この兼重が本当に室町かは考えずに、購入しました。

でも実際、手に脇差が届いたとき、室町頃の兼重の特徴が出ていて、すぐに魅了されました。

それと同時に、手にした愛刀に歴史のロマンを感じました。

そして、出品者花本様と信頼関係が出来たと強く感じました。

祖父の教えに習い、この愛刀「兼重作」を大切にしていきたいと思えます。

国宝の刀剣であろうと、高価であろうと、安価であろうと、私には大切さは変わりません。

祖父が教えてくれました。「正座をし、刃文に写る顔が、自分の正直な気持ちである・・・」

私の少し前に、祖父が刀剣を見つめながらタイムスリップしていたのだと、感じました。

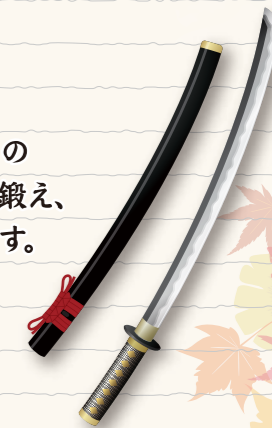
今、私には妻と、5歳になる娘、3歳になる息子がいます。

将来、社会や日本史を学校で学んで来た時に、興味、ロマンを感じてもらい、先人からの教材として兼重には頑張ってもらいたいと思います。正しく扱い、生きた美術品として鍛え、気持ちの支えにしていきたいと思えます。ちなみに、好きな武将は、黒田如水(官兵衛)です。

織田信長や豊臣秀吉、その他様々な武将から難題で鍛えられ、結果的に日本中に名を広めた生き様が、刀剣が出来上がる様と似ているからです。

花本様の熱意に答えたく、お手紙を書かせて頂きました。

今後ともよろしくお願い申し上げます。乱筆失礼致しました。



佐々木様、ご丁寧にお手紙を送って下さり、ありがとうございます。

佐々木様の日本刀への想いが伝わってきました。ご祖父様からの教えを大切にされている姿に感銘を受け、私も実際に「正座をし、刃文に写る顔」を覗いてみました。少しボヤケて見えたのは、錯覚でしょうか・・・?

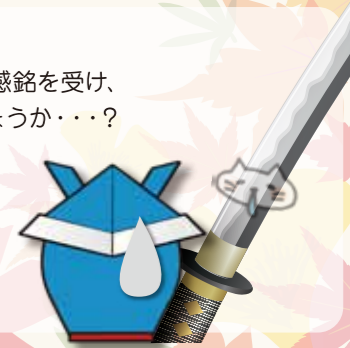
「ハナエモン」のコーナーで、黒田如水について語らせて頂きますね。

「先人からの教材として」「自身の本当の姿を写す鏡として」「歴史のロマンを感じるモノとして」

日本刀を大切にされている佐々木様にご愛顧頂けるように、今後も精進していきたいと身も心も引き締まりました。本当にありがとうございます。

今後とも末永くお付き合いを宜しくお願い致します。

花本



今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。

件名:ニュースレター返信と入力して送信して下さい。



最新情報はホームページ <https://daimyou.com/>

有限会社 大名 広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

東北四県に行ってきました!

こんにちは、島谷貴子です。

まだまだ暑さが続いています、皆様いかがお過ごしでしょうか?

夏休みも終わりに近づいてきた8月の終わり、母の実家に社長(弟)家族と帰省してきましたっ!

一日目...秋田県

無事に比内鶏の町、秋田県大館市に到着っ!!

空気が美しく、川の音が気持ちよく響く、のどかなところ。夜は、きりたんぼ鍋に焼き鳥を美味しく頂きました!! 比内鶏のつくねがとっても美味しかったです。そして地元のお酒「ひないどり」も美味しく頂きました。



夕暮れの大館市



二日目...青森県

電車で大鰐温泉(青森)にGO~

電車で揺られながら、約30分



駅の目の前には、足湯! 湯の温度が熱すぎたのか「あちっ!あちっ!」と足を入れられない子供達っ(笑) この駅に近い鰐come温泉に行きました。



あちっ!

あちっ!

温泉の温度にもびっくり。私の住んでいる尾道の温泉では、38度~40度が普通ですが、寒い地域だからか42度、43度と少し高く、熱めでした。ゆっくり浸かって、日頃の疲れを癒しました。



大鰐で湧き出る天然の温泉水のみで生育しているという「大鰐温泉もやし」が有名で、このもやしを使ったラーメンを頂きました。「シャキシャキ」とした歯ごたえ、本当に美味しく、癖になりそうですっ!



シャキシャキ感がたまらんっ!



長さ約30cm

三日目...秋田県に戻り

レールバイクにチャレンジ!

廃線になった線路の上を自転車のように漕いで走るもの

です。ぱらついていた雨も、乗るときには止み、暑くもなく丁度良かったです。見渡す限り緑で、まるで「もののけ姫」の一場面のようなでした。レールの上を通っているとき、一番「ドキドキ」したのが鉄橋でした。下が丸見えで、「落ちるう〜」と「ドキドキッ」の母の横で、ニコニコ顔の三女。子供達はとっても楽しんでいました。

「イエ〜イ最高〜!」



この日の夜は秋田の郷土料理を頂きました。



とんぶり

長芋と合えて食べました。



比内地鶏の出汁で炊いた炊き込みご飯

黒豆とリンゴチップス入り。

四日目は、岩手県~宮城県

岩手県で創業大正十二年 わんこそばの「やぶ屋」に行ってきましたっ!

やぶ屋総本店



そばの薬味がこんなにあることにびっくりっ!

「よしっ!食べるぞっ!」
こんなに薬味を使うことなく、ひたすら食べ続け...



社長のこの真剣な表情!



三女・ふうか



次女・はるか



長女・ほのか

その結果!!

長女は...18杯
三女は...17杯
次女がなんと!! 32杯

8歳の体にどんだけ入るんだと、母はびっくりでしたっ!

私はというと...



3桁に意気込んでいた社長の結果は... 67杯(残念)
味の感想は... 食べることに夢中でしたっ

ちなみに わんこそば10杯で、かけそば一杯と同じ量です。一杯10gのそばを5分間で何杯食べられるかを競う「元祖わんこそば全日本大会」での、歴代記録は「258杯」だそうです。

宮城の牛タン



満腹なお腹を抱えながら、宮城県へ突入~宮城の牛タンを頂きに...これがまた肉厚で最高!

ごぼうスライスのタワー



社長の長男おつた「これすごくない?」



地酒の飲み比べ



ほやのお造り

尾道では食べられない、海のパイナップルと言われている「生のほや」! とっても美味しかったです。酒に合うう〜!

五日目~帰宅!

無事に広島に到着。あっという間の5日間でした。観光というよりは、食べることを楽しんだ旅行でした。今年の家族の夏休みは、お腹いっぱい夏休みになりました。来年の家族旅行は、どこに行こうかなあ~

富士山 拝めたあ~!!



良い子みんなは飛行機の窓から顔出しちゃダメだよ!

「ここは珍しくて、美味しいよ~」、
「いいとこだから、おいだよ~」等
ありましたら、どんどん教えて下さい。
待ってまあ~す。

